

酒パブリックリサイクル促進協議会便り

Vol.21 平成30年5月15日 発行 発行：酒パブリックリサイクル促進協議会



国税庁 小納国税実査官

平成30年3月28日(水)第32回情報交流会を、東京都港区の日本酒造虎ノ門ビルで開催いたしました。会議には国税庁酒税課の小納国税実査官をはじめ27団体企業39名の参加がありました。

最初に前回の情報交流会以降の活動報告として、事務局から12月に東京ビッグサイトで開催された「エコプロ2017」の出版報告他を、また2つの専門部会から、調査部会は「2017年度酒パブリックリサイクルに関するアンケート調査結



酒促進協 亀井会長

酒パブリックリサイクル促進協議会 第32回情報交流会「東京会議」



第32回情報交流会「東京会議」

「貸し出し用紙管パネルを活用した各社のリサイクル啓発の取り組み」が報告されました。

今回の会議では、酒パブリック回収の実態を知りたいと言ったことから、印刷工業会が毎年実施しているアルミ付飲料用紙容器のリサイクルフロー調査の中から、特に酒パックを抽出したデータについて調査メンバーの大日本印刷國弘氏からご報告

果」の中間報告を、広報部会は「貸し出し用紙管パネルを活用した各社のリサイクル啓発の取り組み」が報告されました。



公益社団法人 東京都リサイクル事業協会 副理事長 戸部 昇 氏

告いただきました。

さらに東京23区で唯一アルミ付飲料用紙パックの行政回収を行う練馬区から、回収業務を担う練馬区リサイクル事業協同組合の市川理事長に、練馬区の実況に関する講演をお願いすると同時に公益社団法人東京都リサイクル事業協会の戸部副理事長とともに、参加者からの質疑に対応していただきました。

(内容については、中面記事をご参照ください。)



練馬区リサイクル事業協同組合 理事長 市川 哲也 氏

前回の開発の身・蓋分離型の御銘酒ギフトボックスを簡便化し、1.8ℓ2本用の一体型カーソンを製作しました。

酒パブリック再生紙を使用し、前回のギフトボックスのデザインはそのままに、比較的手軽にご活用いただけるものになりました。

各方面からのご意見やご希望をいただきながら、今後も引き続き酒パブリック再生紙の活用を積極的に進めてまいります。

御銘酒1.8ℓ×2本用カートン

新登場!!

酒パブリック再生紙利用製品

●酒パブリックリサイクル促進協議会 会員リスト●

- | | | |
|---|---|--------------------------|
| 1 日本酒造組合中央会(東京都) | 15 三和酒類株式会社(大分県) | 27 石塚硝子株式会社(東京都) |
| 2 雲海酒造株式会社(宮崎県) | 16 高千穂酒造株式会社(宮崎県) | 28 大日本印刷株式会社(東京都) |
| 3 オエノンホールディングス株式会社(東京都)
(合同酒精・福德長酒類 他) | 17 高橋酒造株式会社(熊本県) | 29 東京製紙株式会社(静岡県) |
| 4 大口酒造株式会社(鹿児島県) | 18 宝酒造株式会社(京都府) | 30 凸版印刷株式会社(東京都) |
| 5 大関株式会社(兵庫県) | 19 辰馬本家酒造株式会社(兵庫県) | 31 日本製紙株式会社(東京都) |
| 6 関西ボトリング株式会社(兵庫県) | 20 中笠酒造株式会社(愛知県) | 32 日本テトラパック株式会社(東京都) |
| 7 菊正宗酒造株式会社(兵庫県) | 21 日本盛株式会社(兵庫県) | 33 ビーエフ&パッケージ株式会社(東京都) |
| 8 黄桜株式会社(京都府) | 22 白鶴酒造株式会社(兵庫県) | 34 紙製容器包装リサイクル推進協議会(東京都) |
| 9 霧島酒造株式会社(宮崎県) | 23 平喜酒造株式会社(岡山県) | 35 一般社団法人全国清涼飲料連合会(東京都) |
| 10 月桂冠株式会社(京都府) | 24 伏見清酒パック協同組合(京都府) | 36 株式会社トベ商事(東京都) |
| 11 小西酒造株式会社(兵庫県) | (北川本家・齋藤酒造・招徳酒造・玉乃光酒造・鶴正酒造・豊澤本店・都鶴酒造・山本勘藏商店・山本本家) | 37 大和板紙株式会社(大阪府) |
| 12 株式会社小山本家酒造(埼玉県) | | 38 株式会社日誠産業(徳島県) |
| 13 薩摩酒造株式会社(鹿児島県) | 25 盛田株式会社(愛知県) | 39 コアレックス信栄株式会社(静岡県) |
| 14 沢の鶴株式会社(兵庫県) | 26 印刷工業会(東京都) | 40 株式会社田中商店(熊本県) |

事務局:特定非営利活動法人 集めて使うリサイクル協会 (大阪府)

「酒パブリックリサイクル促進協議会」参加申込書

「酒パブリックリサイクル促進協議会」に下記内容で、参加を申し込みます。

年会費: 1口 50,000円 (口、 円)

年会費は、紙パック酒出荷数に応じて下記のように設定しています。(平成28年3月改訂)

- ◆ 1.8ℓ換算で、100万本未満 1口 50,000円
- ◆ 1.8ℓ換算で、100万本以上1,000万本未満 2口 100,000円
- ◆ 1.8ℓ換算で、1,000万本以上 5口 250,000円

※なお、酒造メーカー以外の会員様の年会費は、1口 50,000円です。

記入日		
会社名・団体名		
所属・役職名		
担当者名		
住所	〒	
電話・FAX番号	TEL	FAX
メールアドレス		

*FAX(06-6271-8666)でお申し込みください。追って年会費振込口座等のご連絡をさせていただきます。ご不明な点がございましたら、事務局:集めて使うリサイクル協会(西田)までお問合せ下さいませようお願い申し上げます。

酒パブリックリサイクル促進協議会
事務局:NPO法人 集めて使うリサイクル協会
大阪市中央区南船場1-12-3 船場ランドビル9階
TEL 06-6271-8665 FAX 06-6271-8666

東京都の行政回収：練馬区の取組に関して

からは東京ルールの中紙回収品目として、紙パックを加えた。

組合員の古紙業者がアルミ付紙パックを扱っていたこともあり、練馬区では以前からイベント等でアルミ付紙パックの回収も行っていたため古紙回収品目に紙パックを加える時にアルミ付も同時に対象とした。現在週1度の古紙の日に専用ネットで、新聞雑誌段ボールとともに回収している。東京23区では練馬区だけで実施しているが、ごみ減量の観点

〈練馬区における紙パックリサイクルについての取組み〉



〈紙パックの回収〉

質疑応答の様子



公益社団法人 東京都リサイクル事業協会 理事 戸部 氏
練馬区リサイクル事業協同組合 理事長 市川 氏

からも他地域で実施することとは十分可能と思われる。

アルミ付飲料用紙容器のリサイクルフロー調査より 酒パックを中心として

印刷工業会では、2006年からアルミ付飲料用紙容器のメテリアルフロー調査を実施しているが、昨年度よりその中から酒パックデータを抽出し、紙パック全体およびアルミ付紙パックに占める酒パック

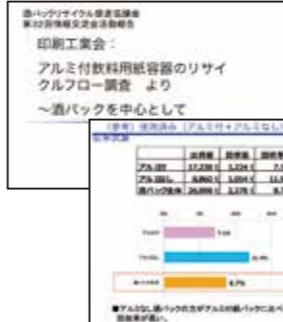


大日本印刷株式会社 包装事業部 包装第3営業部 シニアエキスパート 國弘 武嗣 氏

の位置を明確にすべく資料化している。紙パック全体の中でのアルミ付は26.5%、アルミ付紙パックの中の酒パックの割合は26%となる。特定の回収拠点で実施した組成分析に基づく回収率は、サンプル拠点が回収方法などにより偏りが見られるもののアルミ付紙パックの酒パック比率は、特定

の生協宅配回収では56%、店頭回収で30.1%に上っている。

〈アルミ付飲料用紙容器のリサイクルフロー調査より〉



〈酒パックの回収率計算〉

回収紙パック組成分析調査に参加して

日本酒造組合中央会 業務第1部 白川 和 氏

今回、印刷工業会液体カーボン部会のリサイクルフロー調査に参加する機会をいただき、2月5日に埼玉県新座市で行われた組成分析調査に参加しました。



午前はアルミ付の混合回収をしているスーパーの店頭回収紙パックを、午後は混合回収をしていないスーパーの店頭回収紙パックを対象として仕分けをしました。内容は混合回収の有無に関わらず1ℓ牛乳パックがほぼ大半を占め、アルミ付紙パックに関するは豆乳飲料、野菜ジュース等の健康志向の商品が多く見られました。



また、酒パックに関しては、1ℓ以上は果実酒、日本酒、焼酎、1ℓ未満は料理酒が多く感じられました。そのほか、同商品でもアルミ付きからアルミ無しに移行している商品も見受けられました。

今回、実際に紙パックの仕分けをして、より酒パックの回収実情を知ることができたように感じています。参加する機会をいただき有難うございました。

酒パックリサイクルを啓発する会員各社の取組み

地域小学校 環境授業

三和酒類株式会社
いいちこ 日田蒸留所イベント
2017年10月30日

地域小学校の環境授業の一環として、紙パックリサイクルの紹介や紙漉き体験を実施しました。



紙すき体験



資源循環の紹介と合わせて、紙すき体験を実施

また、工場見学に来た地域小学生などを対象に酒パック再生紙の「いいちこ貯金箱」や「麴ちゃんノート」を配布しました。

子供たちにプレゼント!!



酒パック再生紙の「いいちこ貯金箱」や「麴ちゃんノート」を配布



広報部 古川部会長

貸出用紙管パネルの利用事例

灘の酒蔵 蔵開き2018

灘五郷酒造組合
菊正宗酒造株式会社 2月24日
来場者:約7000人
大関酒造株式会社 3月3日
来場者:約8500人
白鶴酒造株式会社 4月7日
来場者:約4000人



灘五郷酒造組合の酒蔵各社は2~4月にかけて蔵開きを実施。その中で酒パックリサイクル促進協議会参加の各社において、紙管パネルの展示を行い、酒パック再生品の貯金箱などを配布したりと、啓蒙活動を行いました。



エコプロ2017

と き:12月7日(木)~9日(土)
と ころ:東京ビッグサイト

毎年集めて使うリサイクル協会と印刷工業会が酒パックアルミ付紙パックのリサイクルを促進する目的で共同ブースを出展しているエコプロ2017に、今年も酒促進協が出展協力を行いました。例年通り酒造各社の協力によって提供



エコプロ2017 シンボルキャラクター「エコびよん」
定価500円(税別)の各種銘柄貯金箱をプレゼント!!

された各社酒パックサンプルを展示し、銘柄貯金箱を来場者に配布、酒パックのリサイクルを呼びかけました。来場者の中には、後日飲み終えて溜まった酒パックの回収先を問い合わせる電話が酒促進協事務局にかかるなど、酒パックリサイクルの広がりを感じています。取り組みになっています。



開催3日間の総来場者数 160,091人 (主催者発表)